

# ご あ い さ つ

2020年（令和2年）10月、国は2050年（令和32年）までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル」をめざすことを宣言しました。

また、翌年10月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」では、2030年度（令和12年度）に温室効果ガス排出量を2013年度（平成25年度）比で46%削減し、さらに50%削減に向けて挑戦することを表明しました。

本市でも、本年2月に「ゼロカーボンシティ」の実現に向けてのチャレンジを宣言し、市民、事業者、行政が一体となり、2050年（令和32年）までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることをめざしています。

このため、3月には「第二次福山市環境基本計画」の基本目標1「脱炭素社会の構築（気候変動対策）」を改定し、新たな温室効果ガスの削減目標や再生可能エネルギー導入目標を設定しました。

また、新たなごみ処理施設（名称：ふくやま環境美化センター）を整備し、府中市と神石高原町との広域処理を行い、熱エネルギーを利用した発電や焼却灰の資源化などにより、更なる循環型社会の構築をめざしています。

今後も、市民、事業者、行政など多様な主体が一体となり、本市のめざす環境像「みんなで創り 未来につなぐ 豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち福山～持続可能な社会の実現をめざして～」に向けて取り組んでまいります。

本書は、「第二次福山市環境基本計画」の年次報告書として取りまとめたものです。

環境負荷の少ない持続可能な社会の構築をめざす市民の皆様の理解と関心を深め、具体的行動を踏み出すための一助となれば幸いです。

2023年（令和5年）9月  
福山市長 枝広 直幹

